



第48回

日本美容外科学会総会

The 46th Annual Meeting of Japan Society of Aesthetic Plastic Surgery

Afternoon Seminar 5

会期：9月26日(金) 14:20～15:20

会場：虎ノ門ヒルズフォーラム 第2会場 (5F Main Hall 2)
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目23-3 虎ノ門ヒルズ森タワー

座長：BR CLINIC GINZA 野本 俊一 先生



繊細に仕立てる注入術

～脂肪最適化と肌質改善で引き出す患者本来の美～



「Adinizer」を用いた目の下のクマ治療における脂肪注入の工夫と臨床効果

目黒げんクリニック
伊藤 明日香 先生



肌質改善治療における アミノ酸注入剤の役割

スキンフィニティクリニック
橋本 聡 先生

共 催



第48回日本美容外科学会総会



メトラス株式会社

Afternoon Seminar 5



「Adinizer」を用いた目の下のクマ治療における脂肪注入の工夫と臨床効果

目黒げんクリニック
伊藤 明日香 先生

目の下のクマは、形態的变化や色調的变化、皮膚のたるみや質感の低下など、多因子要素から構成される美容的問題である。脂肪注入によるボリューム補填は、形態的变化の改善に加え、眼輪筋透過等による色調变化の緩和も期待できる有効な治療手段の一つである。一方で、注入脂肪の粒度や均質性が術後結果に大きな影響をもたらすことから、注入脂肪の加工法には工夫が必要とされている。

本演題では、刃付きマイクロポアディスクを用いた脂肪微細化デバイス「Adinizer」を用い、0.4～4.0mmの多段階ディスクを通すことで脂肪粒のサイズを適切に調整し、目の下のクマに対し脱脂術と併用し脂肪注入を行った複数例の臨床結果を報告する。脂肪は大腿部より採取し、遠心分離後、段階的にAdinizerによる処理を施した。注入は鈍針を用いてボリューム補填目的には中顔面領域の皮下脂肪層や骨膜上に、眼輪筋透過等による色調改善目的には下眼瞼の皮下に行った。

全例において形態的に良好な結果が得られ、眼輪筋透過等による色調についても改善がみられた。長期経過でも脂肪の定着性も良好であり、患者満足度も高かった。

Adinizerは、細胞損傷を最小限に抑えつつ、脂肪組織を効率的かつ均質に微粒化できる点が特長であり、特に目の下のように繊細で少量の注入による調整が必要となる領域においては、良好な仕上がりに貢献すると考えられる。



肌質改善治療における アミノ酸注入剤の役割

スキンフィニティクリニック
橋本 聡 先生

美容医療領域において肌質の向上を目的とした注射製剤が数多く登場し、従来のポリュマライジングやリガメントのサポートを目的としたヒアルロン酸製剤による治療などと区別されるようになった。

自然で若々しく、美しい肌を育む目的で使用されるこれらの製剤を総称して「肌育系製剤」とも呼ばれるようになり、数多くの肌育系製剤が登場した近年では、各製剤によりその特徴が異なることが文献的および経験的に知られるようになった。国内での使用経験が増えることで蓄積された知見ももとに、乱立し始めた肌育系製剤を目的に応じて分類および整理する動きも出始めている。

今回はその肌育系製剤の中でもその基本ともいえるべき「アミノ酸製剤」についてまとめておきたい。